倉敷市備蓄計画

目次

1	はじめに	1
2	計画の基本方針	1
3	市民備蓄	1
4	事業者備蓄	2
5	公的備蓄	3
7	備蓄期間及び処分時期	11
8	流通備蓄	11
9	救援物資（緊急物資）について	15

令和 3 年 9 月

1 はじめに

現在、「緊急物資等の備蓄・調達に関する報告書（岡山県・市町村防災対策研究協議会）」を起点とし、岡山県及び県内各市町村が連携して備蓄の推進を図っている。

倉敷市においても、備蓄の在り方等の基本的な方針を示した「倉敷市備蓄計画（以下、「計画」という。）」を策定し、災害への備えを行っていたところであるが、平成30年7月豪雨災害では備蓄物資の品目、数量及び輸送等について様々な課題が発生しており、令和元年度以降、市備蓄計画自体の大幅な見直しを行っているところである。

また、国においても、東日本大震災や近年頻発する豪雨災害を経て、備蓄物資の拡充や迅速に物資を被災地に届けるための支援体制の整備が急務と考えており、「防災基本計画（中央防災会議）」や「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画（中央防災会議）」の見直しを、岡山県においては「緊急物資等の備蓄・調達（南海トラフ地震想定）について（令和3年1月 岡山県災害時相互応援連絡協議会）（以下、「県計画」という。）」等の見直しを随時行っている。

今回の市計画は、自助・共助を基本に、市民による日頃からの家庭内備蓄を推進するとともに、市民・事業者・市が、日頃からの備えや災害時の適切な対策を講じるための体制強化を進めることを前提として、前述の国及び県の動向を勘案し備蓄物資の品目や数量の見直しを行った。

なお、これまで毎年度を行っていた市計画の改訂は原則5年ごとに行うこととし、課題等が生じた場合にはその都度検討を加え、改訂することとする。

2 計画の基本方針

災害時に必要となる物資の量は、災害の種類、規模等によって異なるが、地震災害の場合、道路の寸断等により災害発生から3日間程度、被災地域内の物流・流通機能等が停止すると想定されることから、県計画では食糧等の備蓄量を3日分程度と定めており、市計画についても県に準じて、状況設定を行っている。

また、県計画において県と各市町村の想定備蓄量の負担割合については、県が1/3、市が2/3であり、この点についても市計画は県計画に準じている。

$$\text{倉敷市目標備蓄量} = \frac{\text{県及び市町村の目標備蓄量} \times 2/3}{\text{南海トラフ地震推進地域内人口（岡山県）}} \times \text{倉敷市人口（平成22年）}$$

(1,622,885人)

* 県計画は平成22年国勢調査に基づいているため。

3 市民備蓄

倉敷市は、市民備蓄の向上を目指して、積極的に広報や啓発を進めていくこととする。

- (1) 家庭内備蓄については、普段から購入している飲料水や食料品等を計画的に使用し、使用した分だけ新たに買い足すというローリングストック方法で最低3日分、できれば1週間分以上の備蓄を行うよう啓発する。
- (2) 各家庭において何が必要なのかを考え、災害時に備えて備蓄を行うよう啓発する。
- (3) 直ぐに必要なものは、非常持出品としてリュックサックなどに入れ、いつでも持ち出せる場所に置いておく。
- (4) 各家庭にある資機材は避難所で有効活用する。(キャンプ用品・バケツなど)
- (5) 非常持出品の例
 - ・飲料水
 - ・調理せず食べることができる食品(缶詰、お菓子、栄養補助食品、保存食など)
 - ・懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話(充電器含む)、モバイルバッテリー、乾電池、救急医療品、衛生用品、防寒用品、軍手、携帯トイレ、衣類(下着)、ハサミ、万能ナイフ など
 - ・通帳、印鑑、キャッシュカード、保険証、運転免許証などの貴重品 など
 - ・常備薬、お薬手帳のコピー など
 - ・マスク、体温計、アルコール消毒液 など
- (6) 備蓄品の例
 - ・飲料水(3日以上)、缶詰、レトルト食品などの食料品
 - ・カセットコンロ(ボンベ)
 - ・簡易トイレ
 - ・衛生用品、ウェットティッシュ

4 事業者備蓄

事業者等は、災害発生時において来場者や従業員等の安全確保を第一に取り組むとともに、帰宅が困難な場合や事業継続を行うために必要な備蓄を行う必要がある。

特に、ライフラインについては、復旧のめどが立つまでには数日を要することもあるため、3日以上以上の食料の備蓄を確保し、可能であれば帰宅等の安全が確認できるまでの間、従業員を待機させる対策をとる。

また、定期的な防災訓練等において備蓄食料を使用することにより、定期的な更新を図るとともに、従業員の防災意識の向上を図る必要がある。

- (1) 事業所等で備えることが望ましい例

飲料水，従業員の食料（3日分以上），医薬品，携帯トイレ，防水シート，テント，ラジオ，乾電池，ヘルメット，軍手，懐中電灯，長靴，防寒具（毛布・寝袋など），発電機，マスク，体温計，アルコール消毒液 など

(2) 従業員が個人で備えることが望ましい例

飲料水，携帯電話（充電器含む），携帯ラジオ，携帯食料 など

5 公的備蓄

災害時に必要となる主な物資について，原則，県備蓄計画で示された目標値を基準として，次のとおり備蓄を行う。

なお，以下に示す備蓄保有量は令和3年4月1日時点の数量とする。

(1) 食 糧

備蓄保有量	114,541食	
県目標値	282,500食	
市目標値	300,000食	
	カンパン類	100,000食
	アルファ化米	190,000食
	レトルト粥	10,000食
消費期限等	5年	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，支所，指定避難所	
備考	・アルファ化米及びレトルト粥はアレルギー対応品とする。	

(2) 飲料水

備蓄保有量	56,5300	
県目標値	581,8890	
市目標値	150,0000 (731,8890)	
	既存の給水車等による供給	(581,8890)
	ペットボトル保存水	150,0000
消費期限等	7年	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル保存水は, 1食につき500mlを1本、2日分として算定する。 ・ペットボトルは500mlボトルとする。 ・ペットボトルの目標本数は300,000本とする。 	

(3) 調整粉乳

備蓄保有量	0 kg	
県目標値	120 kg	
市目標値	120 kg	
	粉ミルク	40 kg
	液体ミルク	80 kg
消費期限等	1年6か月	
保管場所	市保育園, 阿津防災備蓄倉庫, 支所	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・粉ミルクはキューブ型を購入し, 市保育園(5園)でのローリングストックとする。 ・発災初期の環境面を考慮し, 液体ミルクを新規導入する。これに伴い, 哺乳瓶の備蓄を廃止とする。 	

(4) 毛 布 等

備蓄保有量	12,015枚	
県目標値	11,810枚	
市目標値	20,000枚	
	毛布	15,000枚
	タオルケット	5,000枚
消費期限等	10年（リパック対応）	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，支所，指定避難所	
備考	・10年経過時点でリパックとする。	

(5) 敷マット

備蓄保有量	7,045枚	
県目標値	なし	
市目標値	20,000枚	
	アルミマット	20,000枚
消費期限等	10年	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，支所，指定避難所	
備考	・毛布と同等数の備蓄とする。	

(6) 生理用品

備蓄保有量	663セット	
県目標値	1,990セット	
市目標値	4,000セット	
	ナプキン（昼用）	2,000セット
	ナプキン（夜用）	2,000セット
消費期限等	4年	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，支所	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・1セットは24枚を基本とする。 ・用途及び1枚単位での配付が難しいことを勘案して，昼用と夜用をそれぞれ県目標値まで備蓄する。 	

(7) 紙おむつ

備蓄保有量	3,498セット	
県目標値	6,520セット	
市目標値	2,200セット	
	乳幼児用	1,500セット
	大人用	700セット
消費期限等	4年	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・タイプ別, サイズ別に乳幼児用は各300セット, 大人用は各100セットを備蓄する。 ・種類が多岐に渡るため, 種類別に必要数を備蓄することが困難であることから, 県目標値からの不足分については, 協定先からの流通備蓄で対応する。 	

(8) 簡易トイレ

備蓄保有量	便袋: 52,900枚 テント付き便器: 596基	
県目標値	541,500枚 (便袋のみ)	
市目標値	便袋: 600,000枚 テント付き便器: 600基	
消費期限等	7年 (便袋のみ)	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・便袋の1人あたりの必要量は, 1日5枚の3日間として算定を行う。 ・マンホールトイレ及び仮設トイレを併用して対応する。 	

(9) トイレットペーパー

備蓄保有量	12,000巻
県目標値	4,830巻
市目標値	20,000巻
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所
備考	

(10) マスク

備蓄保有量	1,000,000枚
県目標値	200,000枚
市目標値	200,000枚
	不織布マスク 200,000枚
消費期限等	5年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所
備考	

(11) 簡易ベッド

備蓄保有量	550台
県目標値	なし
市目標値	1,000台
	段ボールベッド 1,000台
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所
備考	

(12) 非接触型体温計

備蓄保有量	200個
県目標値	234個
市目標値	200個
消費期限等	5年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，支所
備考	・洪水土砂災害を想定して開設する避難所が36カ所であることから，これ以上の備蓄は不要とする。

(13) 土のう袋

備蓄保有量	426,590枚
県目標値	なし
市目標値	100,000枚
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，粒浦倉庫，支所
備考	・備蓄保有数は目標値を大幅に超過しているが，平成30年に調達した海外製品であり，耐久度が著しく低いため，国内製品の備蓄を改めるとする。

(14) ブルーシート

備蓄保有量	4,552枚
県目標値	なし
市目標値	10,000枚
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，粒浦倉庫，支所
備考	

(15) 簡易発電機

備蓄保有量	89台
県目標値	なし
市目標値	200台
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 指定避難所
備考	・カセットガスボンベ使用

(16) カセットガスボンベ

備蓄保有量	2,689本
県目標値	なし
市目標値	4,200本
	250g缶 4,200本
消費期限等	7年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所
備考	・簡易発電機用(2本で1時間稼働)

(17) 電源コード

備蓄保有量	(20m 0個) 114セット
県目標値	なし
市目標値	200セット
	コードリール(50m) 200個
	コードリール(20m) 200個
	延長コード(10m) 200個
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・コードリール(20m) 備蓄保有: 0個 ・1セット (コードリール50m・20m 延長コード10m)

(18) アルコール消毒液

備蓄保有量	1,8270
県目標値	なし
市目標値	1,4500
消費期限等	5年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 粒浦倉庫, 支所
備考	

(19) 間仕切り

備蓄保有量	154張
県目標値	なし
市目標値	254張
	間仕切り4部屋セット(16㎡) 50張
	間仕切りテント大(6㎡) 100張
	間仕切りテント小(4㎡) 100張
	段ボール板 5000枚
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・間仕切り4部屋セット(16㎡) 備蓄保有: 50基 ・間仕切りテント大(6㎡) 備蓄保有: 0基 ・間仕切りテント小(4㎡) 備蓄保有: 104基 ・段ボール板 備蓄保有: 枚 ・間仕切りテントの備蓄が完了し次第, 段ボール板は廃止する

(20) タオル

備蓄保有量	13,366枚
県目標値	なし
市目標値	20,000枚
	フェイスタオル 20,000本
消費期限等	10年
保管場所	阿津防災備蓄倉庫, 支所, 指定避難所
備考	

(21) 投光器

備蓄保有量	122台	
県目標値	なし	
市目標値	230台	
	床置き型	200台
	スタンド型	30台
消費期限等	10年	
保管場所	阿津防災備蓄倉庫，支所，指定避難所	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・床置き型 備蓄保有：122台 ・スタンド型 備蓄保有：0台 	

6 備蓄期間及び処分時期

次の期間において備蓄し，経過後は市内及び関係団体への提供を行うことで食品ロスを減らすなど備蓄物資の有効活用を行う。

(1) 「賞味期限」の設定がある備蓄品

賞味期限の残りが概ね12か月を切った時点で処分する。

当初賞味期限が12か月より短期の場合は，6ヶ月を切った時点で処分する。

(2) 「使用期限」の設定がある備蓄品（飲食料品以外）

賞味期限の残りが概ね6か月を切った時点で処分する。

(3) 期限の設定等が無い備蓄品

備蓄品の性状や製造元が推奨する保存期間等を考慮し，個々に定める。

7 流通備蓄

本市では，様々な団体，企業等とあらかじめ協定を締結し，災害時に必要な物資を調達する仕組みを整えている。（以下，「流通備蓄」という。）

現在，下記の流通備蓄に関する協定・覚書締結一覧のとおり，市内の団体や業者，全国展開している企業等と物資（食料，生活必需品）及び資器材等に関する協定を締結しているが，今後についても，流通備蓄の体制を強化していく。

また，市の備蓄を補完する物資として流通備蓄の確保を図るため，これまで締結している協定内容を検証し，より円滑な供給体制の確保に努め，実効性のある協定とする。

(1) 流通備蓄に関する協定・覚書締結一覧（令和3年8月31日現在）

協 定 名	内 容	協 定 先
災害時及び平常時における防災活動への協力に関する協定	物資等の供給 ・食糧品 ・食器類 ・日用品 ・その他協定先の取扱い商品	イオン(株)西日本カンパニー, イオンモール(株)イオン倉敷ショッピングセンター
災害時における食料・生活必需品の確保等に関する協定	食糧及び生活必需品の供給 (別表1)	マックスバリュ西日本(株)
災害時及び平常時における防災活動への協力に関する協定	物資の供給 (別表2)	(株)リックコーポレーション
災害発生時における生活必需品等の物資の調達に関する協定	生活必需品等の物資の調達 ・食糧品 ・食器類 ・日用品 ・その他協定先の取扱い商品	(株)天満屋ストア, (株)仁科百貨店, 両備バス(株)ストア本部, 生活協同組合おかやまコープ
災害発生時における生活必需品等の物資の調達に関する協定	生活必需品等の物資の調達 ・食糧品 ・食器類 ・日用品 ・その他協定先の取扱い商品	岡山西農業協同組合, 倉敷かさや農業協同組合
災害時における物資供給に関する協定	物資の供給 (別表3)	(特非)コメリ災害対策センター
災害時における飲料水の供給に関する協定	飲料水等の物資の調達 ・飲料水 ・ウォーターサーバー ・紙コップ	GKアセットホールディングス(株)

協 定 名	内 容	協 定 先
災害時における応急 対策物資の調達に関 する協定	応急対策資材の調達 ・ブルーシート ・土のう袋 ・協定先が製造，販売する もの	萩原工業(株)
災害時における物資 調達に関する協定	物資の調達 ・日用品 ・作業用品 ・冷暖同器具及び電気用品 等 ・その他市が指定する物資	(株)ジュンテンドー
生活必需物資及び医 薬品の調達に関する 協定	生活必需物資及び医薬品の 調達 ・食料品 ・飲料水 ・日用品 ・医薬品 ・その他市が指定する物資	ウエルシア薬局(株)
災害時における天幕 等資材の供給に関す る協定	天幕等資材の供給 ・エアテント ・間仕切り ・天幕大型テント ・その他市が指定する物資	太陽工業(株)
災害時におけるLP ガスの供給に関する 協定	LPガス及びガス機材の供 給	(社)岡山県エルピーガス 協会
災害時における燃料 等の供給に関する協 定 書	燃料等の供給	岡山県石油商業組合倉敷 支部，児島支部，玉島支 部，総社支部

別表1 食糧及び生活必需品の供給（マックスバリュ西日本(株)）

種 類	物 資 名
食 器 類	紙コップ, 箸, フォーク, スプーン, 紙皿
日用品雑貨	チリ紙, ティッシュ, 石鹼, 洗濯石鹼(粉), 紙オムツ
	歯ブラシ, 歯磨き粉, 軍手, ガムテープ, 生理用品
	ウェットティッシュ, ライター(使い捨てライター等)
	マスク
光熱材料	卓上ガスコンロ, ガスボンベ, 電池, ローソク
食 糧	米, パン, 牛乳, 各種缶詰, 味噌, 醤油, 砂糖, 各種野菜
	インスタントラーメン, ソーセージ, ジュース
	マヨネーズ, 玉子, 菓子類, 塩, 調味料, お茶, 水

別表2 物資の供給（(株)リックコーポレーション）

種 類	物 資 名
作業関係	作業シート, ホースリール, スコップ, 土のう袋
日用品等	マスク, ローソク, 使い捨てカイロ, ティッシュペーパー, トイレットペーパー, 使い捨てライター, 毛布, タオル, 紙コップ, 紙皿, 割箸, ホイル, ラップ, バケツ, 雑巾
水関係	飲料水, 水缶
冷暖房機具等	ストーブ, 木炭, 練炭, 練炭コンロ, 七輪
電気用品等	懐中電灯, 電池, ラジオ, カセットコンロ, カセットボンベ
トイレ関係等	携帯ミニトイレ
ペット用品	ペットシート
その他	

別表3 物資の供給（(特非)コメリ災害対策センター）

種 類	物 資 名
作業関係	作業シート, 標識ロープ, ヘルメット, 防塵マスク, 簡易マスク, 長靴, 軍手, ゴム手袋, 皮手袋, 雨具, 土のう袋, ガラ袋, スコップ, ホースリール
日用品等	毛布, タオル, 割りばし, 使い捨て食器, ポリ袋, ホイル, ラップ, ウェットティッシュ, マスク, 衛生用ポリ手袋(使い捨て), バケツ, 水モップ, デッキブラシ, 雑巾, 簡易ライター,

	使い捨てカイロ
水関係	飲料水（ペットボトル）、生活用水用ポリタンク
冷暖房機具等	大型石油ストーブ、木炭、木炭コンロ
電気用品等	テレビ、パソコン、発電機、投光器、懐中電灯、乾電池、カセットコンロ、カセットボンベ
トイレ関係等	救急ミニトイレ

8 救援物資（緊急物資）について

平成30年7月豪雨災害では全国から救援物資が届けられたが、受け手側において物資の在庫管理や仕分けの処理能力を超え、物流が低下した。

また、被災直後、避難所の物資の需要把握が明確に掴めた状態ではないまま、送られてくる物資受入れを行わざるを得なかったため、的確な管理ができなかった。

こうしたことから、本市では物資の受入れから在庫管理、各避難所までの輸送を円滑に行うための一時集積拠点を設け、各避難所への運搬を行う。

(1) 一時集積拠点

施設名	所在地	備蓄量
倉敷市阿津防災備蓄倉庫	児島阿津2丁目15-35	500m ³

(2) 物資の輸送に関する協定締結一覧（令和3年8月31日現在）

協定名	内容	協定先
船舶による輸送等災害応急対策に関する協定	災害救助に必要な生活必需品等の輸送	岡山県水難救済会
災害時等緊急時における支援協力に関する協定	救援物資等の輸送	(特非)ピースウィンズ・ジャパン

(3) 救援物資（緊急物資）に関する協定締結一覧（令和3年8月31日現在）

協定名	内容	協定先
中核市災害相互応援協定	食料、飲料水、生活必需品及び資機材の提供	中核市
岡山県及び県内市町村の災害時相互応援協定	食料、飲料水、生活必需品及び資機材の提供	岡山県及び県内市町村
非常災害時における炊		(株)倉敷まるたま

協 定 名	内 容	協 定 先
出し等提供に関する協定	炊き出しの提供	
災害等緊急時における支援協力に関する協定	炊き出しの提供	(公財)倉敷法人会
災害時における畳の提供等に関する協定	畳の提供	5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会
特設公衆電話の設置・利用に関する協定	非常用電話の設置、通信の提供	西日本電信電話(株)岡山支店

倉敷市備蓄計画

令和3年（2021年）9月改定

〒710-8565

倉敷市西中新田640

倉敷市防災推進課

TEL 086-426-3131

No.	品目		消費 期限	県が示す倉 敷市備蓄量	市の目標備蓄量		単位
1	食料	乾パン類(カンパン)	5年	287,180	30,000	300,000	食
		乾パン類(ビスケット)	5年		70,000		
		アルファ化米	5年		190,000		
		粥	5年		10,000		
2	飲料水	ペットボトル(500ml)	5年	-	300,000		本
3	調整粉乳	粉ミルク	1年半	111	40	120	kg
		液体ミルク	1年半		80		
4	毛布等	毛布	10年	11,810	15,000	20,000	枚
		タオルケット	10年		5,000		
5	敷マット	アルミマット	10年	-	20,000		枚
6	生理用品	昼用	4年	1,990	2,000	4,000	セット
		夜用	4年		2,000		
7	紙おむつ	乳児・小児用	4年	6,520	1,500	2,200	セット
		大人用	4年		700		
8	簡易トイレ	便袋	7年	541,500	600,000		枚
		テント付き便器	なし	-	600		基
9	トイレットペーパー		10年	4,830	20,000		巻
10	不織布マスク		5年	200,500	200,500		枚
11	簡易ベッド	段ボールベッド	10年	879	1,000		台
12	非接触型体温計		5年	234	200		個
13	土のう袋		10年	-	100,000		枚
14	ブルーシート		10年	-	10,000		枚
15	簡易発電機		10年	-	200		台
16	カセットガスボンベ	250g	7年	-	9,600		本
17	コードリール	50m	10年	-	200		個
		20m	10年	-	200		個
	延長コード	10m	10年	-	200		個
18	アルコール消毒液		3年	-	1,450		リットル
19	間仕切り	4部屋セット	10年	-	50	1,050	張
		テント大			500		
		テント小			500		
		段ボール板			5,000		
20	タオル	フェイスタオル	10年	-	20,000		枚
21	投光器	床置き型	10年	-	200		台
		スタンド型			30		台